

テーマ	我が国の幼児算数教育の現状と課題
発表者	松尾七重 (千葉大学), 高阪将人 (福井大学), 中和渚 (関東学院大学), 辻宏子 (明治学院大学)
趣旨及び概要	<p>近年, 国際的に見て幼児期の算数教育に関する研究は急激に増加してきている. しかしながら, 我が国では, 諸外国に比べて幼児期の算数教育の推進が遅れており, 将来に亘り質の高い算数・数学教育を実施する上で, 幼稚園・保育所・こども園等と小学校との滑らかな接続を図ることは喫緊の課題であると言える. この課題の解決には, 就学前幼児を対象とした算数教育プログラムの開発に留まらず, それを実施する保育者がプログラムの活動を自ら考えて実践できるようにするための研修, また, そのプログラムが幼児の保護者のニーズに合うものであるかどうかを検討することが不可欠であることが分かってきた.</p> <p>そこで, 本研究では, 我が国の幼児算数教育の現状を明らかにし, そこに浮かび上がる課題を包括的に明らかにすることを目的とし, 以下の研究課題に答えることとする.</p> <p>「1. 算数に関する幼児の実態はどのようなものであるか」「2. 幼児算数教育について保育者はどのように考えているか」「3. 幼児算数教育について, 保育者養成の課程に在学する大学生はどのように考えているか」「4. 幼児算数教育について, 幼児の保護者はどのように考えているか」</p>